

## 第2回 大腸癌プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」議事録

場所 都市センターホテル 603

日時 2011年7月7日 13時～14時

配付資料 大腸癌研究会プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」第2回資料

参加者 前田（藤田保健），古畑（札幌医），衣笠（久留米），亀岡，廣澤（女子医），  
八岡，横山（埼玉がん），大植，能浦（大阪成人病），飯合，田島，野上，島  
田（新潟），岡本（防衛），船橋，鏡，甲田（東邦），金光（愛知がん），中野  
（駒込），渡邊，石原，端山（帝京），西川（青森），固武，松井（栃がん），  
小林（医科歯科） 順不同敬称略

議題1 第1回会議議事録が承認された。

- ① 本プロジェクト研究の概要 ②参加施設について ③検討内容 ④全国登録データをを用いた大腸癌腹膜播種症例の解析結果報告 ⑤世界における腹膜播種分類について ⑥収集データの内容・項目について ⑦術中腹腔内洗浄細胞診について

議題2 腹膜播種の retrospective study について

- ・現在までに15/16施設のデータが収集された。
- ・各施設は統合データを解析して次回会議で報告することとした。

議題3 腹膜播種の prospective study について

- ・プロトコール：多施設共同前向き観察研究として2012年1月までに事務局がプロトコール案を作成し、大腸癌研究会の倫理委員会で承認を受けた後に研究を開始することとした。
- ・研究参加施設：16施設。症例集積状況によっては施設数の増加を検討することとした。

議題4 細胞診の retrospective study について

- ・本テーマに関して既発表データを有する6施設のデータを検討することとした（大阪成人病，愛知がん，女子医，帝京，防衛，栃木がん）
- ・事務局で提案した収集項目が承認された。

議題5 腹腔洗浄細胞診に関する systematic review

研究成果が報告された（松井：栃木がん）。研究結果を論文発表することとした。

文責：小林宏寿